

事業名 平成20年度社会同和教育市町村巡回研修会**目的** すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、広く人々の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、問題の解決に資することができるよう啓発を図る。**実施主体** 新潟県教育委員会（主管：下越教育事務所 共催：阿賀町教育委員会）**参加対象** 教育委員会職員等教育行政関係者、社会教育委員、民生・児童委員、人権擁護委員 学校教育関係者、PTA関係者等（五泉市・阿賀町地域）**参加者** 128名**回数** 1回 **日数** 1日 **時間** 5時間40分**場所** 阿賀町公民館**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
	7月16日(水) 10:20～16:00	新潟県における社会同和教育の課題と今後のあり方について ～差別の現実から学ぶ～	部落解放同盟新潟県連合会執行委員 高橋 加代子
1	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 (10:20～10:30) <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ 森 正司 (県教育庁下越教育事務所長) 犬飼 哲夫 (阿賀町教育委員会教育長) ○ 講演 (10:30～12:00) <ul style="list-style-type: none"> 演題 「私と部落問題」 講師 高橋 加代子 (部落解放同盟新潟県連合会執行委員) ○ 県所管事項の説明 (13:10～13:40) <ul style="list-style-type: none"> 磯辺 一幸 (県教育庁生涯学習推進課社会教育主事) ○ ビデオ視聴 (13:40～14:15) <ul style="list-style-type: none"> 題名 「差別っていったい何やねん」 (歩く水平社宣言：川口泰司) ○ 研究協議会「分散会」 (14:30～16:00) <ul style="list-style-type: none"> 5会場で7グループに分かれて人権・同和問題について話し合う。 	

成果

- ・ 社会教育委員や民生委員・児童委員など社会教育関係者が多く参加し、差別の現実をとおして差別の不当性に気付き、同和教育の重要性を確認することができた。
- ・ 参加者からは、「人権や同和問題に対する理解や認識を深めることができよ研修会であった」という声が多く聞かれた。
- ・ 同和問題を身近な問題として受け止め、差別の解消に取り組もうとする意識の醸成が図られた。

課題

- ・ 参加者を募集する際の住民へのPRには、対象地域の教育委員会の協力・働き掛けが不可欠である。
- ・ 市町村独自の人権・同和教育に関する研修会の開催はまだ少ない。各市町村においても人権・同和教育の研修会が開催されるよう一層の働き掛けを行う必要がある。

問合せ先 新潟県教育庁下越教育事務所 社会教育課 (担当：板垣副参事) TEL：025-231-8361